

TOTO サーマユニット施工説明書

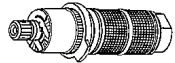
製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
取付後はお客様にご使用方法を十分ご説明ください。

はじめに

取付ける製品によって施工の方法が異なります。対象となる製品の施工説明書をご覧ください。

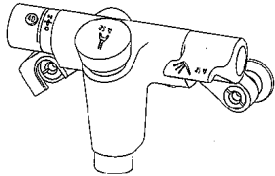
同梱部品

サーモユニット



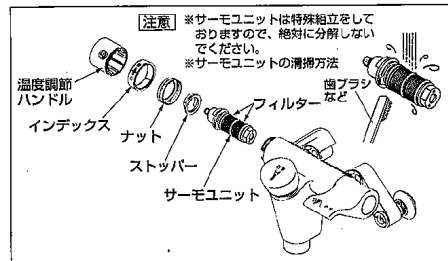
対象製品

TMF49型



分解図

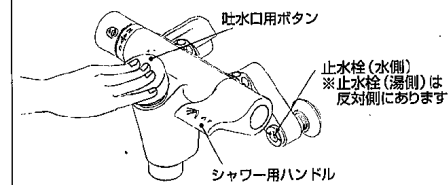
品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。



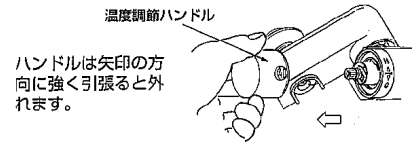
取替方法

旧ユニットの取外し

1. 止水栓（湯側・水側）を閉め、吐水口用ボタン又はシャワー用ハンドルを押して水を抜いてください。



2. 温度調節ハンドルを取外してください。



3. インデックスを取外してください。

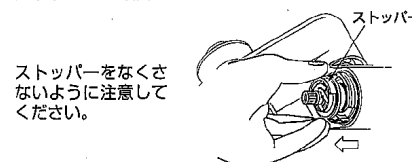
インデックスは、はめ込み式です。インデックスは本体後下側に切れ目が入っていますので、切れ目の部分から広げるようにして取外してください。



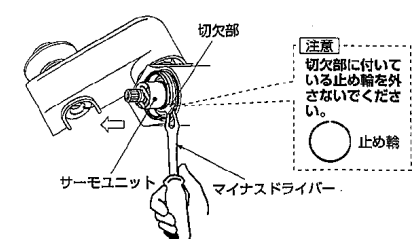
4. ナットを取外してください。



5. ストッパーを取外してください。

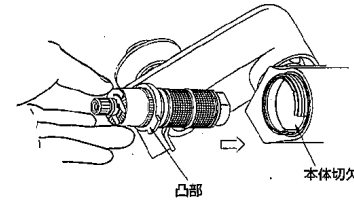


6. 切欠部にマイナスドライバーを差し込み、旧サーモユニットを取外してください。

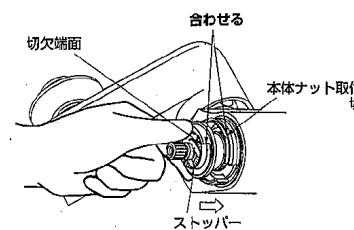


新ユニットの組み込み

1. 新サーモユニットの凸部を本体の切欠に合わせて、水栓本体に挿込んでください。



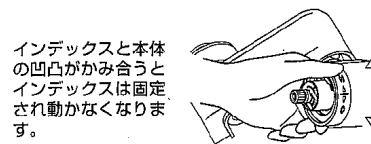
2. ストッパー切欠端面と本体ナット取付部切欠が合うように取付けてください。



3. ナットを確実に締付けてください。



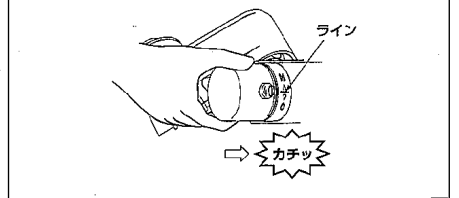
4. インデックスを取付けてください。C、Hの表示が正面になるようにインデックスを取付けたのち、インデックスを軽く回して位置合わせをしてください。



※インデックスが確実に固定されたか目視で必ず確認してください。

5. 止水栓（湯側・水側）を開け、スパウト又はシャワーより吐水させてください。この時、各部から漏れがないことを確認してください。

6. “40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。この時ハンドルが簡単に抜けないことを確認してください。

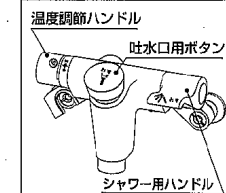


温度調節

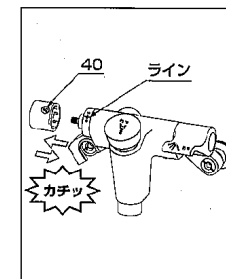
工場でおよそ40℃の湯ができるように温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって目盛どりの吐水温度にならない場合がありますので必ず次の要領で調節してください。

調節する前に次のことを確かめてください。

- 止水栓が全開しているか確かめてください。
- フィルターのごみづまりはないか確かめてください。
- 十分な温度（使用する温度より10℃以上）の湯がきているか確かめてください。



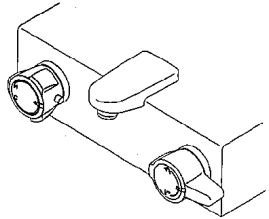
吐水口用ボタン又はシャワー用ハンドルを押して湯を出し、温度調節ハンドルを目盛に關係なく40℃の湯が出る位置まで回してください。



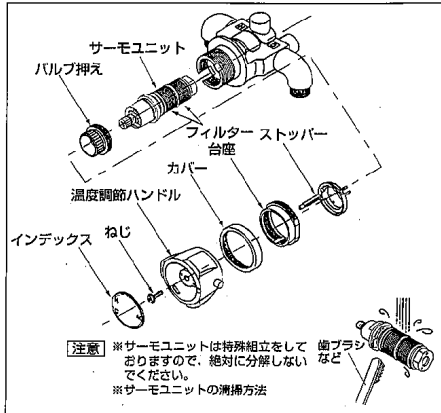
温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜取ってください。
※ハンドルははめ込みのため、強く引くと抜けず。抜けない場合は、レバーを傷がつかないように軽くたたいてください。
“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。

対象製品

TUB40Q型



分解図



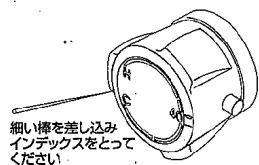
取替方法

旧ユニットの取外し

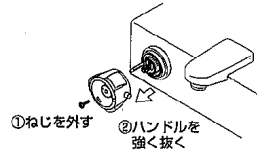
1. 止水栓を開め、切り替えハンドルを開けてください。
① マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を閉めてください。



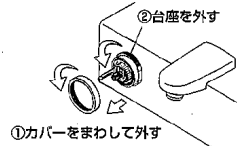
2. インデックスを外してください。



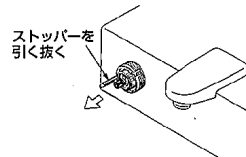
3. 温度調節ハンドルを外してください。



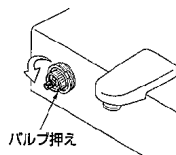
4. カバーと台座を外してください。



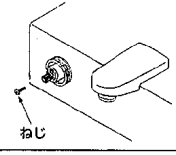
5. ストッパーを外してください。



6. バルブ押えを外してください。

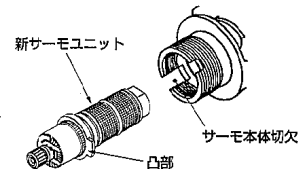


7. 旧サーモユニットを外してください。3で外したねじを軽くねじ込んでねじを引張って外します。

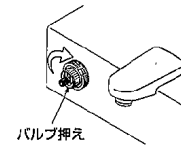


新ユニットの組込み

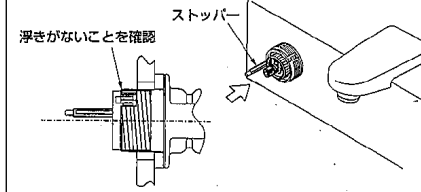
1. 新サーモユニットの凸部を本体の切欠に合わせてサーモ本体に組込んでください。



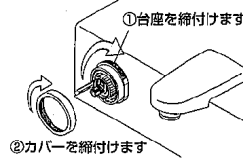
2. バルブ押えを締付けてください。プライヤーなどで確実に締付けてください。



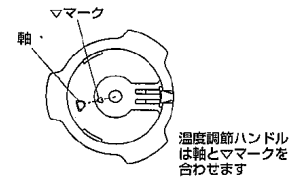
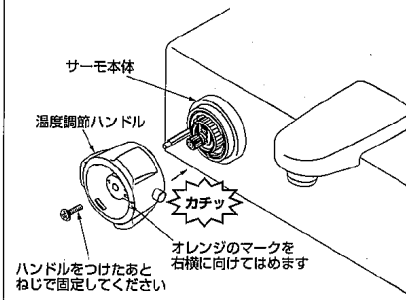
3. ストッパーを取付けてください。
(注) ストッパーが浮き上がっていないか確認してください。



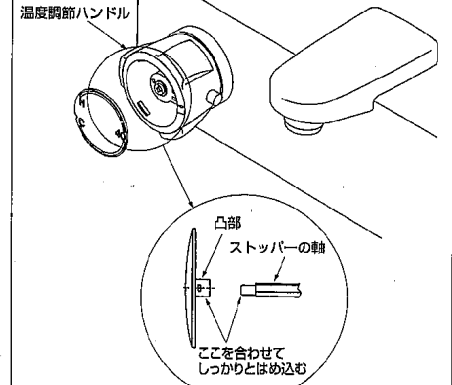
4. 台座とカバーを締付けてください。



5. 温度調節ハンドルを取付けてください。
下図の要領で「カチッ」と音がするまではめこんでください。



6. インデックスを取付けてください。
ストップパーの軸にインデックスの凸部をはめます。



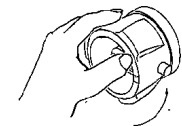
温度調節

工場で温度調節をしています。取付現場の圧力状況などによって目盛どりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

調節する前に次のことを確かめてください。

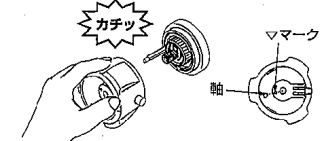
- 止水栓は全開になっているか。
- フィルターのごみづまりはないか。
- 常用給湯温度 (50℃以上) の湯がきているか。

1. 切替ハンドルを回してスパウトより吐水させ、温度調節ハンドルを目盛に関係なく40℃の湯が出る位置まで回してください。



2. 「旧ユニットの取外し」2、3の要領でインデックスと温度調節ハンドルを取外します。この時温度調節ハンドルが回らないように注意してください。

3. 「新ユニットの組込み」5の要領でハンドルを取付けねじで固定してください。



4. 「新ユニットの組込み」6の要領でストップパーの軸にインデックスの凸部をはめます。

TOTO サーモユニット施工説明書

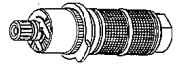
製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
取付後はお客様にご使用方法を十分ご説明ください。

はじめに

取付ける製品によって施工の方法が異なります。対象となる製品の施工説明書をご覧ください。

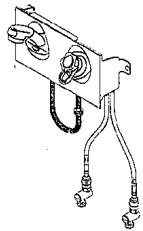
同梱部品

サーモユニット



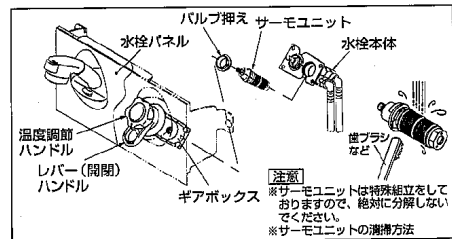
対象製品

TL490型の場合



分解図

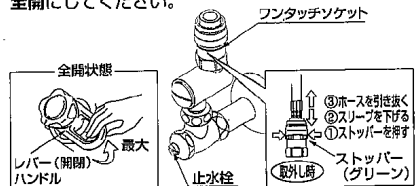
品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。



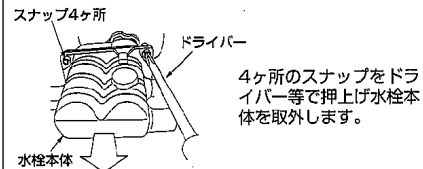
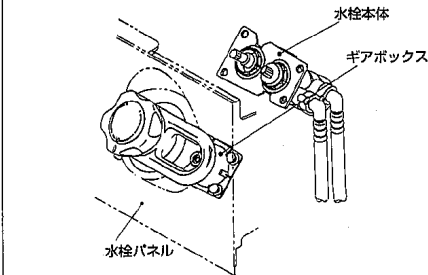
取替方法

旧ユニットの取外し

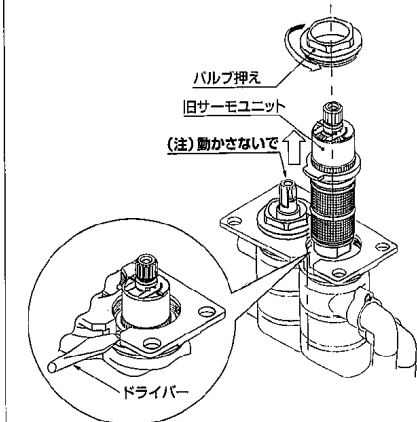
1. 止水栓(湯側・水側)を閉め、ワンタッチソケットよりホースを外し、レバー(開閉)ハンドルを全開にしてください。



2. 製品に付属の「施工説明書」をご参照になり化粧ケースから水栓パネルを取外したうえで水栓本体を水栓パネルから取外します。

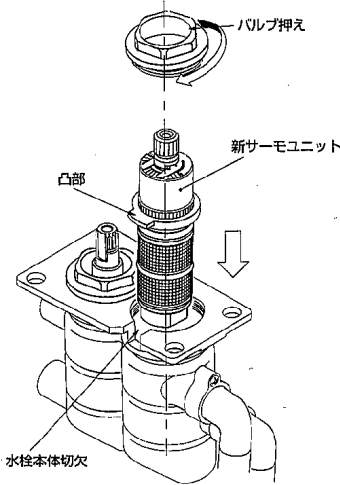


3. ①水栓本体からバルブ押えを取外してください。
②溝部にドライバーを差し込んで旧サーモユニットを外してください。

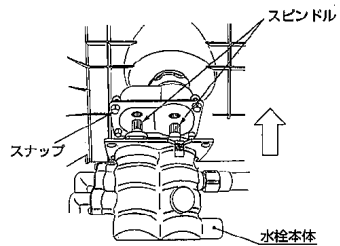


新ユニットの組み込み

1. ①新サーモユニットの凸部を本体の切欠に合わせて、水栓本体に組込んでください。
②バルブ押えを確実に締付けてください。



2. 水栓パネルのギアボックスに水栓本体を下記①～④の要領で取付けてください。



① スナップ 4ヶ所のスナップが引き上げられていることを確認してください。

② 流調側スピンドル
流調側スピンドルのカット面が図の方向にあることを確認してください。

③ レバーハンドルを全開の方向に向け、ギアボックスの4ヶ所のスナップとスピンドルを図の矢印の位置に合わせてはめ込みます。
(はめにくい場合は、レバー(開閉)ハンドルを軽く回しながら調節してください。)

④ ギアボックスと水栓本体との間にスキ間無しを確認し、4ヶ所のスナップを上からつまむ様にして押込みます。

(注意) ギアボックスを無理な力ではめ込まないでください。スピンドルがうまくはまらず、止水不良などの原因となる場合があります。

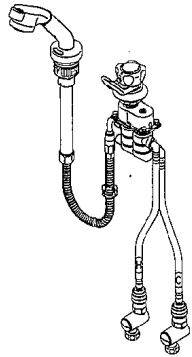
水栓パネルの取付け
製品に付属の「施工説明書」をご参照になり、化粧ケースの取付面への水栓を取付けます。

温度調節

工場でおよそ40℃の湯がでるように温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって自盛どりの吐水温度にならない場合があります。
その場合は製品に付属の「取扱説明書」をご参照になり、温度調節を行ってください。

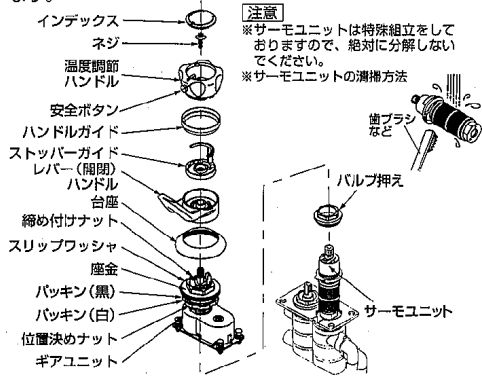
対象製品

TL392型の場合



分解図

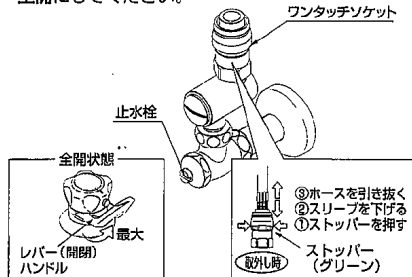
品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。



取替方法

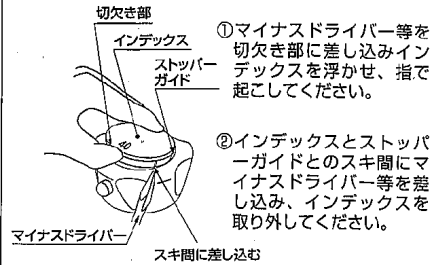
旧ユニットの取外し

1. 止水栓(湯側・水側)を閉め、ワンタッチソケットよりホースを外し、レバー(開閉)ハンドルを全開にしてください。

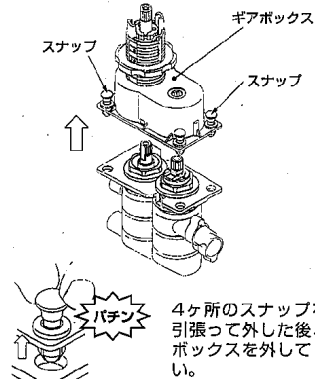


2. 洗面化粧台の取付面よりハンドル・本体を取外してください。取外しは製品に付属の「施工説明書」をご参照になり、取付時と逆の手順で取外してください。

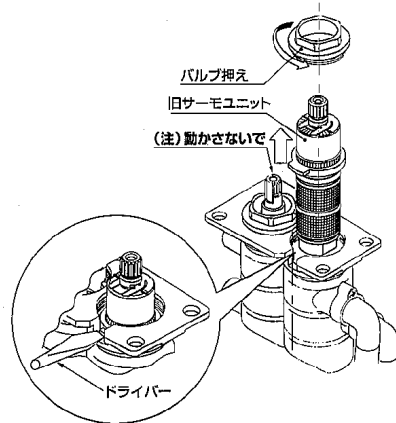
(参考) インデックスの取外し方



3. 本体よりギアボックスを取外してください。

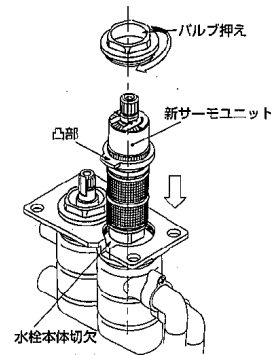


4. ①水栓本体からバルブ押えを取外してください。
②溝部にドライバーを差し込んで旧サーモユニットを外してください。

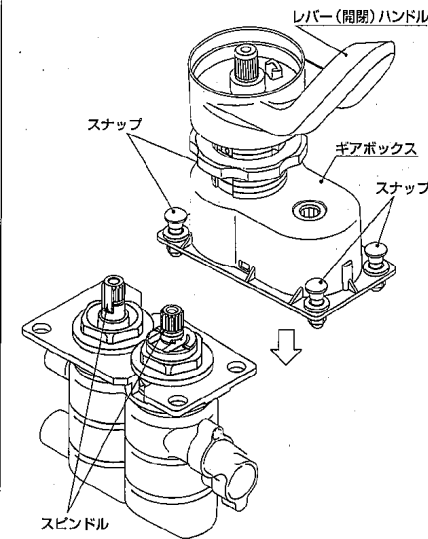


新ユニットの組み込み

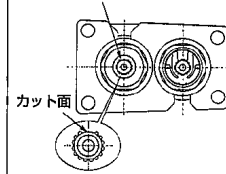
1. ①新サーモユニットの凸部を本体の切欠に合わせ、水栓本体に組込んでください。
②バルブ押えを確実に締付けてください。



2. ギアボックスを下記①～④の要領で取付けてください。

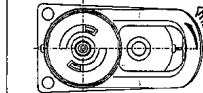


② 流調側スピンドル



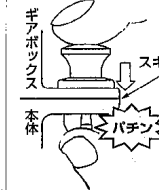
流調側スピンドルのカット面が図の方向にあることを確認してください。

③



レバーハンドルを全開の方向に向け、ギアボックスの4ヶ所のスナップとスピンドルを図の矢印の位置に合わせてはめ込みます。
(はめにくい場合は、レバー(開閉)ハンドルを軽く回しながら調節してください。)

④



ギアボックスと水栓本体との間にスキ間が無い事を確認し、4ヶ所のスナップを上からつまむ様にして押込みます。

注意 ギアボックスを無理な力ではめ込まないでください。スピンドルがうまくはまらず、止水不良などの原因となる場合があります。

水栓の取付け
製品に付属の「施工説明書」をご参照になり、洗面化粧台の取付面への水栓を取付けます。

温度調節

工場でおよそ40℃の湯ができるように温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって目盛どりの吐水温度にならない場合があります。

その場合は製品に付属の「取扱説明書」をご参照になり、温度調節を行ってください。